



第3次加須市子ども読書活動推進計画 概要版

加須市は、平成25年に平成29年度までの5年間を計画期間とする「第2次加須市子ども読書活動推進計画」を策定し、「学校等における子どもの読書活動の推進」、「家庭・地域における子どもの読書活動の推進」、「図書館における子どもの読書活動の推進」、「子どもの読書活動の推進体制の整備と普及・啓発の推進」の4つの項目を基本方針として定め、学校、家庭、地域等を通じた社会全体で、本との出会いや本との楽しい時間を持つための環境づくりに取り組んでまいりました。

今回、第2次計画での取組の成果と課題等を踏まえ計画の見直しを図り、さらに充実・発展させるものとして「第3次加須市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

1 計画の目的

子どもが自主的な読書活動をすることができる環境を整備し、読書のきっかけづくりや読書活動の習慣化を図ることにより、子どもの読書活動がより一層活発になるように、子ども読書活動推進の基本的な方向性を示し、その施策を総合的・計画的に推進するものです。

2 計画の対象

おおむね18歳以下の子どもを対象とします。

3 計画の期間

本計画は平成30年度(2018年度)から平成34年度(2022年度)までの5年間とします。なお、社会情勢の変化に応じて、計画の見直しを適切に行っていきます。

4 計画の基本方針

- 1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進
- 2 学校等における子どもの読書活動の推進
- 3 図書館における子どもの読書活動の推進
- 4 子どもの読書活動の推進体制の整備と普及・啓発の推進



5 計画の指標

本市における子どもの読書活動の状況を把握するため、下記のとおり本計画の数値目標である指標を定め、計画の最終年である平成34年度(2022年度)の目標値を達成することを目指します。

1 本を読むのが好きな子どもの割合を増やします。

目標指標	学年	現状値 平成28年度 (2016年度)	目標値 平成34年度 (2022年度)
本を読むのが好きな子どもの割合	小学5年生	85.2%	87.6%
	中学2年生	75.8%	82.9%

2 1か月間に1冊も本を読まなかった子どもの割合(不読率)の減少に取り組めます。

目標指標	学年	現状値 平成28年度 (2016年度)	目標値 平成34年度 (2022年度)
1か月間に1冊も本を読まなかった子どもの割合(教科書や参考書、まんがや雑誌は除く)(不読率)	小学5年生	8.9%	0%
	中学2年生	27.5%	10.0%

※埼玉県学力・学習状況調査における加須市の不読率

3 18歳までの子どもへの市立図書館資料の貸出冊数の増加を図ります。

目標指標	現状値 平成28年度 (2016年度)	目標値 平成34年度 (2022年度)
18歳までの子どもへの市立図書館資料の貸出冊数	89,137冊	90,000冊

☆☆☆～子どもの読書活動推進のための取組～☆☆☆

1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

- (1)家庭での読書活動への支援
- ①絵本との親子ふれあい事業の推進
 - ②家庭での読み聞かせの推進
 - ③家読(うちどく)の推進
- ※家読(うちどく)とは・・・コラムをご覧ください。



(2) 地域での取組

- ①身近に本がある環境の整備
- ②子どもの読書に関する活動の充実
- ③地域文庫・家庭文庫への支援

※地域文庫・家庭文庫とは
地域の方が蔵書を管理している場合
や、個人の方が自分の蔵書を地域の子
どもたちに開放しているもの。

2 学校等における子どもの読書活動の推進

(1) 保育所・幼稚園での取組

- ①幼児向け図書の有効利用
- ②読み聞かせの充実
- ③保護者への働きかけ
- ④学校との連携



(2) 学校での取組

- ①読書機会の充実
- ②「ブックリーフレット大賞」の開催
- ③家庭との連携
- ④学習・授業での学校図書館の活用
- ⑤読書への関心を高めるための環境整備
- ⑥学校図書館の整備・充実
- ⑦司書教諭や学校図書館教育担当者等の資質の向上
- ⑧市立図書館との連携
- ⑨障がいのある子どもの読書活動の推進
- ⑩保育所・幼稚園との連携
- ⑪ボランティア活動の推進

※ブックリーフレット大賞とは
自分が読んだ本の中から、お薦め
の本のイラストや本の中の好きな
表現を1枚のリーフレットにまとめ
て応募します。思考力や表現力の向
上に役立ち、読書意欲を向上させる
取組みです。

3 図書館における子どもの読書活動の推進

(1) 資料活用に関する取組

- ①児童書・青少年向け資料の充実
- ②資料情報の積極的な発信
- ③おはなし会・講座の充実
- ④絵本との親子ふれあい事業の推進(再掲)
- ⑤学校訪問おはなし会・ブックトークの実施
- ⑥青少年向け(ヤングアダルト)サービスの充実
- ⑦団体貸出による図書館資料の活用



(2) 読書活動支援に関する取組

- ①調べ学習や総合的な学習の場の提供
- ②ボランティアの育成・支援
- ③図書館情報システム等の活用
- ④図書館職員の資質の向上

- ⑤図書館での児童・生徒の職場体験等の受け入れ
- ⑥子どもの読書活動に関する情報の発信
- ⑦ハンディキャップのある子どもへの読書活動の支援
- ⑧日本語を母国語としない子どもへの読書活動の支援

4 子どもの読書活動の推進体制の整備と普及・啓発の推進

(1) 推進体制の整備

- ①図書館と学校との連携
- ②読み聞かせボランティア等との協働・連携
- ③行政機関の連携
- ④他の図書館との連携



(2) 普及・啓発の推進

- ①「子ども読書の日」等の取組
- ②子どもの読書活動に関する情報の発信(再掲)
- ③読みたい本を見つける機会を増やす取組

コラム

やってみよう 家読(うちどく)

☆家読(うちどく)とは？

「家読(うちどく)」は、「家庭読書(家族読書)」の略語で「家族ふれあい読書」を意味し、「家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深める」ことを目的にした読書運動です。

家族のコミュニケーションを図り、「家族の絆」を深める一助になります。



子どもを中心に、家族みんなが同じ本を読み、読んだ本の感想を話し合います。

読む本は自由ですが、お子さんにも読みやすい「絵本」がおすすめです。

みんなで 家読(うちどく)

